

次世代型路面電車

LRT

導入に

賛成ですか?

反対ですか?

今こそ、宇都宮市民による「住民投票」で決めましょう!

Q 「LRT導入計画」ってどんな内容なの?

A もととは宇都宮市東部(鬼怒川左岸)の渋滞対策として、桜通り十文字からテクノポリスまでの約15.3kmの区間で、既存の路線バスに替えてLRT(=次世代型路面電車)導入案を宇都宮市が示しました。

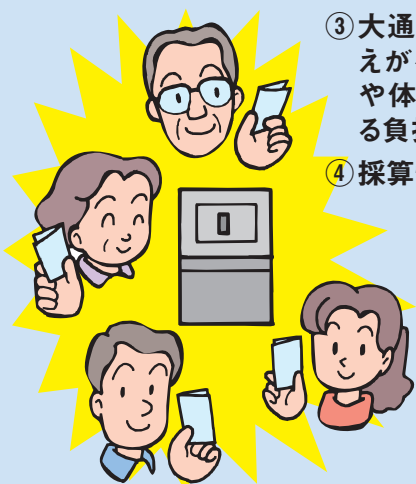
Q LRTが導入されると何が問題なの?

A この計画を実行するためには383億円以上もの費用がかかります。ただし、この予算には付帯設備等の費用は含まれていないので、実際には更に巨額となることは明らかです。もちろんこの費用は私たちの税金で支払われることになるのです。こんなに費用をかけるのに、

- ① LRT導入後の全体の交通体系や街づくりの視点が不明確!
- ② JR宇都宮駅東西大通りならびに接続する幹線道路は更に交通渋滞!

③ 大通りでLRTとバスの乗り換えが必要になるので高齢者や体の不自由な人には更なる負担発生!

④ 採算性に疑問! 等々...



私たちは、市民の意志を最も民主的に反映する「住民投票」の実現に向け活動します。

Q 「導入」は決定されているの?

A 正式決定はまだされていません。しかし既に宇都宮市は、「LRT導入推進室」の設置や調査費用として1億3,000万円を予算計上するなど、導入に向けた準備を着々と進めているところです。

Q 宇都宮市民は導入に賛成なの?

A 連合栃木総合生活研究所が行った2013県民意識調査結果を見ると、LRT導入計画の認知度は約50%、導入の是非については「必要ない」が30.4%、「積極的に整備すべき」が16.4%、「どちらともいえない」と「わからない」が21.6%という回答でした。

Q 反対する人が多いのに、どうして宇都宮市は強引に導入しようとするんだろう。私たちの意志を反映させる方法はないの?

A 住民投票で決める方法があります。LRTを導入することに「賛成」か「反対」か、宇都宮市民が投票します。民意を表すことができる単純明快な手段です。

Q それなら早く住民投票を行って民意を問えばいいのに...

A 残念ながら現在の宇都宮市のルールでは住民投票をすぐ行うことは出来ません。いくつかの条件を満たしてはじめて住民投票の実施となります。

✦ 住民投票がおこなわれるまで

住民投票の実施を求めるためには、多くの宇都宮市民の力を合わせ「住民投票でLRTの是非を決めましょう」という条例を作らなければなりません。

この条例を作るためには「住民投票を行って欲しい」と願う**宇都宮市民約9,000人以上から署名を集めることが必要**です。その後、宇都宮市議会で検討され条例制定の過半数の賛成が得られれば、いよいよ住民投票が行われることになります。

✦ 署名集めが重要なカギ!!

この運動を成功させるためには多くの署名を集めることです。一つ注意しなくてはいけないのは、この署名運動は、一般的な署名と違い『受任者』といわれる署名集めを行う人を事前に決めなくてはなりません。この『受任者』でないと署名を集めることができないという制約があります。

署名集めを成功させるためには、**多くの『受任者』の確保が必要**です。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

【受任者となる条件】 宇都宮市内に住民票のある有権者ならどなたでもなれます。(ただし、公務員の方はなれません。) ※宇都宮市にお引越しをされてきた方は、住所登録から3か月以上経っていることが受任者の条件となります。

「住民投票」の実現に向け、皆様のご協力をお願いします!

発行：民意なきLRT導入を阻止する会